



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり

② 確かな学力の育成

③ 健やかな身体の育成

④ 豊かな心の育成

⑤ 生徒の良さを伸ばし、課題を
解決するための「連携・協働」を推進する



秋の日はつるべ落とし

富士山 初冠雪



先日、甲府地方気象台は、富士山の初冠雪を発表しました。これは、観測開始以降、最も遅い発表だそうです。また、11月7日は、二十四節気のひとつ「立冬」を迎え、暦の上では「冬」となります。確かに「秋の日はつるべ落とし」のごとく、日が暮れるのが、日に日に早くなってきました。「秋」も終わりに近づいており、寒暖の差が激しい季節です。体調の管理には、十分にご留意ください。

10月31日(木)、都留市文化ホール(うぐいすホール)で行われ

た親善音楽会では、多くの保護者の皆様にご来場いただき、感謝しております。生徒たちにとっても、大変励みになったことと思います。ありがとうございました。

卒業後の進路選択

「正しい選択」ってあるのかな？

10月下旬、3年生は、中学卒業後の進路について、保護者を交えた面談を行いました。3年生の皆さんは、小学校6年間、中学校3年間の義務教育期間を終え、中学卒業後の進路を、自分自身で選ばなければなりません。これは、今まで歩んできた人生の中で、最初の大きな「選択」を迫られているといえます。色々と迷っている人も多いことでしょう。「自分」が納得して、これから進む道を選んでほしいと願っています。

生徒たちは、これから先、何事においても「自分で決める(=選択する)」ことが増えてきます。

例えば、高校に進学した場合、高校卒業後、大学進学か就職かの選択。大学進学又は就職の場合でも、都会か地元かの選択…等々。換言すれば、“人生は(進路)選択の連続”といえます。人生の先輩(先人)も、多くの名言を残していますが、私たちは、どのような時代や環境においても、様々なことを考えながら、進路を選択し

ているのです。自分にとって、これが「正しい選択」かどうか…、選択の時点では分からないことも多いでしょう。

だからこそ、“自分の進路は、自分で決める”という姿勢が大切だと思います。

私たち大人は、今でも、様々な思いや夢を抱きながら、暮らしています。人生のそれぞれの時期に、進路について、考え、悩み続けた結果、最終的に、自分は〇〇〇という職業にたどり着いた、ということではないでしょうか。誰もが、自分に、何が一番合っているんだろうと悩みながら、先のこと

に夢や希望、不安を抱きながら、歩んでいるのです。3年生の皆さんは、いま、その出発点に立っているといえます。“その学校(その職業)が自分に合っているかどうか?”…実際、その道に進んでみなければ分からないことも多いでしょう。

変わる可能性もあるからこそ、色んな助言や情報等を総合的に判断して、自分で決めてください。選んだ道を歩んでいくのは、自分自身です。誰かが代わってくれるなんてことはできません。私たち大人は、皆さんの選択を尊重し応援しています。

